

産業部会（1） …… 亶理のブランド化が大切

	意見 アイデア	展開を図りたい地区に○印 (全町的な場合は無印)					特に重要なもの
		荒浜	逢隈	吉田西部	吉田東部	亶理	
農業 ブランディング 事業	【イチゴランド構想】						●
	<ul style="list-style-type: none"> いちご加工品の製造・販売(ブランド化)、いちご販売所、6次産業化 イチゴハウスを開放(いつでもイチゴ狩りが可能) 「いちご」は東北一の生産量、新たな東北一を作り上げ活性化(わたりブランドのいちごスイーツは商工会で開発済み) 名前を「亶理いちご」に、「亶理いちご」のブランド化とPR 周年出荷のイチゴ栽培 						
	【人づくり】						
	<ul style="list-style-type: none"> 農業の人づくりをする場の整備 農業・農村の塾(百姓塾)の開催、技術・後継者育成 						
	【農業体験の提供】						
林業	<ul style="list-style-type: none"> 農産加工の体験(道の駅のとまり) 農家に民泊して昔の農作業体験 農業体験施設の整備 体験農業 農業体験と連携した、新たな道の駅のコンセプト 減反水田での米粉用水稲の生産 						
	【遊休農地の有効活用】						
	<ul style="list-style-type: none"> 自家菜園、貸農園の整備 						
水産業 ブランディング 事業	【エネルギー】						
	<ul style="list-style-type: none"> 農業とメガソーラーの連携の推進 農業用水を活用した水力発電 				●		
工業による 雇用創出	【バイオマス事業と荒廃林地の再生】		●	●		●	
	<ul style="list-style-type: none"> あまったチップをエネルギーとして活用 バイオマス(コミュニティエネルギー)、エネルギーの地産地消の推進 木質バイオマスエネルギーの活用 荒廃林地の再生(山が荒れていることが問題) 高齢者や若者の知恵と力の活用(シルバー人材による間伐材の伐採、若者の発想の活用) トレッキングコース作る→チップが出る→エネルギーとして 		●	●		●	
水産業 ブランディング 事業	【直売】	●					
	<ul style="list-style-type: none"> 朝市のような店舗の整備(集客を図る、直売があれば買いたい人はたくさんいそう)→定期的開催 水産関係市場的店舗の整備 潮干狩り場で子どもの体験学習(定置網やワカメの種付けなど) 鳥の海荘で、採った魚を料理できる施設 	●					
工業による 雇用創出	【体験漁業】						
	<ul style="list-style-type: none"> 魚のつかみ取りなどの体験施設の整備 つかみ取り、魚のレースなど 漁業と観光、漁業と農業の連携強化 ふれあい市場の商品の充実 はらこ飯、ほっき飯、しゃこ飯の町内での充実(食文化) 首都圏の料理店との連携 釣り堀等の観光公園の設置 	●					
工業による 雇用創出	【企業誘致】						
	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地にグループ化させて入居 農産物加工の工場誘致 ←排水処理の問題有り 						
工業による 雇用創出	【小エネルギー】						
	<ul style="list-style-type: none"> 小火力、小水力、小バイオの整備(ソーラー発電だけに頼らない) 						

・仙台いちごのブランドを生かしつつ、「亶理いちご」の箱で出荷するようになれば良い
 ・米の袋や魚の箱にもイチゴの絵
 ・バイクのナンバープレートにイチゴの絵
 ・亶理のキャラクター活用
 ・イチゴの研修施設やドライイチゴ製造機器の導入等
 ・農工商連携でのイチゴ
 ・大規模で雇用力のある6次産業化

キャッチフレーズ
「わたしとわたりのブランドづくり」(案)

産業部会（2） …… 亶理のブランド化が大切

地区 テーマ	意見 アイデア	展開を図りたい地区に○印 (全町的な場合は無印)					特に重要なもの
		荒浜	逢隈	吉田西部	吉田東部	亶理	
販売・集客機能の 強化	【道の駅の整備】						
	<ul style="list-style-type: none"> 亶理の農産物、水産物も加工品もある道の駅(的販売所)の設置 農産物、加工品、工作品の直売所の整備(悠里館、公民館のスペースに販売場所が出来ないか、イベントの際に売り損なう事がある) 亶理でブランド化された商品の販売場所がよく知られていないので他町村から来る人によくすぐわかりやすい売りやすい場所がほしい 中心市街地の活性化も考慮 亶理町を親子で1日遊べる場所・施設(道の駅)を核とする。 						
	【PR】						
	<ul style="list-style-type: none"> 加工品の開発、販売に加え、宣伝が重要 						
	【人材活用】						
観光客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 新規出店希望者へのセミナー 商業アドバイザーの県や商工会と連携 						
	【場の整備】						
	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人数の研修会に集る場所の確保(研修会後、食事出来る会館、50~100名位の会議) 個人・団体にイベントする際の場所の確保 						
	【各種補助制度の積極的活用】						
	【里山・遊歩道整備】		●	●		●	
観光客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 里山・里海整備(トレッキングコースと組み合わせた観光ツアーの検討) 里山づくり(遊歩道の整備) 花見山+遊歩道の設置 		●	●		●	
	【観光客誘致体制等の整備】						
	<ul style="list-style-type: none"> 広域観光交流の促進(丸森・角田・柴田等、隣接町村とのコラボ) オートキャンプ場の整備 鳥の海の活用(イベント、キャンプ) 学生の各種大会等の誘致とその推進組織の設立 誘客分析アンケート調査の実施(アンケートの協力お礼) 亶理の集客の核をつくり、周遊のルートをつくる 周遊バスを観光に活用(イチゴがりに用い土日も運行) 	●			●		
	【PR】						
	<ul style="list-style-type: none"> 行政と商業団体が共同で行う観光PR いちご狩りの宣伝 						
地域おこし	【環境】						
	<ul style="list-style-type: none"> オートキャンプ場については、海岸地帯に入り込まないよう(鳴き砂)配慮 						
他の専門部会から 出た当該専門部会 に関連する意見 (他の専門部会の 意見を再掲)	【亶理のブランド化】						
	<ul style="list-style-type: none"> 「わたりはすごい」と言われる取組(PRに最大の効果を生む) グローバル+ローカルの地域おこし(亶理のブランド化) 東北の湘南(明るく楽しいまち) 						
他の専門部会から 出た当該専門部会 に関連する意見 (他の専門部会の 意見を再掲)	<ul style="list-style-type: none"> (観光・レジャー?)亶理の里山の整備 (観光・レジャー?)里山の利用 主婦の力で農村レストラン (観光・レジャー?)被災を学ぶ体験学習と高齢者の仕事の支援をする、「民泊の体験ツアー」 (観光・レジャー?)鳥の海の海洋スポーツを (観光?)民宿で亶理町探索 (観光?)亶理町内にホテルを (産業?)日中働ける場所が亶理に欲しい →企業誘致の問題か?子育てしながら働く場所の問題か? 						
	<ul style="list-style-type: none"> (観光?)亶理町内にホテルを (産業?)日中働ける場所が亶理に欲しい →企業誘致の問題か?子育てしながら働く場所の問題か? 						

【第2回専門部会での意見】
 ・道の駅ができて、亶理の商業が衰退しないのか。
 ・スマートインターに道の駅をつくるのは、亶理町全体の利益にならない。
 ・流行りや便利だけでなく、亶理町全体を考えるべき。

【第3回専門部会での意見】
 ・道の駅で亶理の町なかを衰退するのではなく、場所(スマートインター)が課題
 ・道の駅と中心市街地をどう考えるか
 ・荒浜の水産センターや逢隈のふれあいセンターと競合しないか?
 ・福島の「四季の里」のように、水産センター、ふれあいセンター、市街地とのネットワークも効果的!
 ・道の駅よりも先に観光を充実させる必要あり
 ・売るだけでなく、散策や遊べる場所(道の駅天童や上品の郷)
 ・道の駅だけに商品を出すのではなく、集客のバイを増やすことが必要

・山元町で壁画が発見された